

## foobar2000を使用したDSD再生の方法

DSD再生には、ある程度のパソコンの性能が必要です。また、foobar2000の設定などは、OSや環境によって変わりますので、この方法はあくまで参考として見てください。

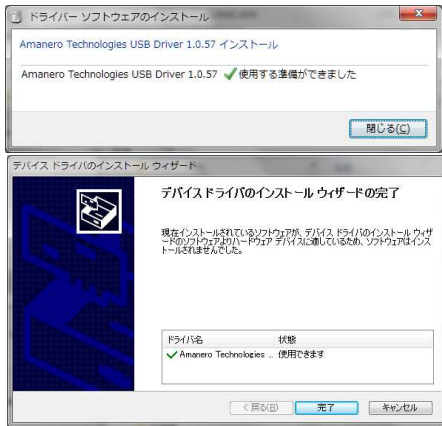
今回使用したのは、Corei5のノートパソコンで、OSは、Windows7(64ビット)です。

1 まず最初にUSB-DACに搭載されているCombo384のAmanero USB Driverの最新版をインストールします。

こちらからダウンロードしてください。 これを作成する時点での最新版は1.0.57です。

<http://amanero.com/drivers.htm>

[download Combo384 Drivers for Windows XP Win7 Win8 32/64b](#) これを実行します。

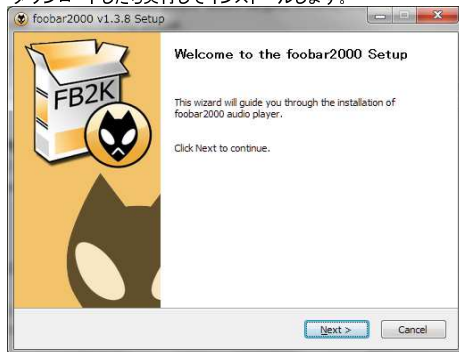


2 次にfoobar2000をインストールします。

これを作成時点での最新版は、V1.3.8です。

<http://www.foobar2000.org/>

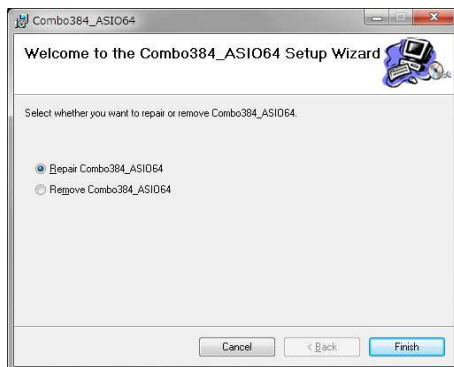
ダウンロードしたら実行してインストールします。



3 Combo384のASIO Driverをインストールします。

こちらからダウンロードしてください。

<http://amanero.com/drivers/asio/>

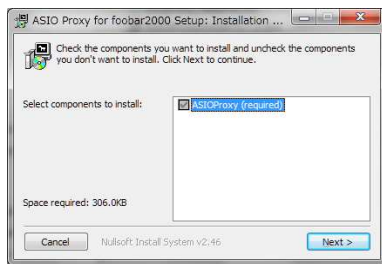


※この表示は、すでにインストールしてあるので、本来ならば普通にインストール表示画面になります。

4 foobar2000用のSACDdecoderをインストールします。

SourceForgeからダウンロードできます。

[http://sourceforge.net/projects/sacddecoder/files/fooinput\\_sacd/](http://sourceforge.net/projects/sacddecoder/files/fooinput_sacd/)



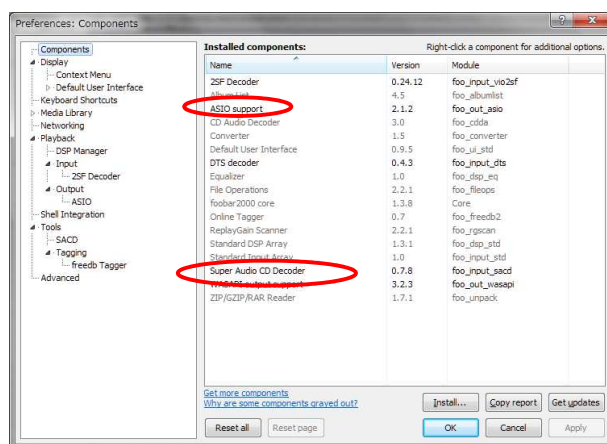
5 foobar2000用のDoP出力コンポーネントDownloadします。

foobar2000のサイトにあります。

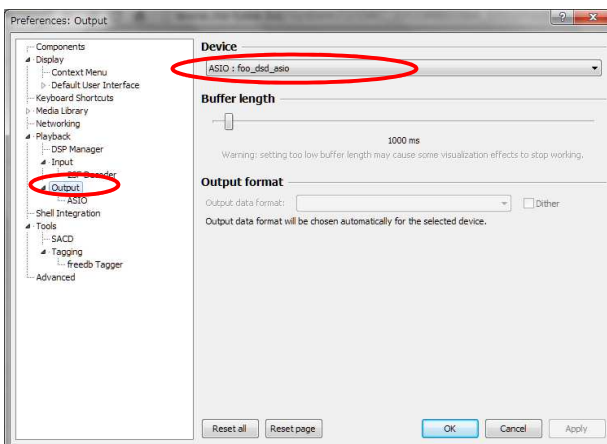
[http://www.foobar2000.org/components/view/foout\\_asio](http://www.foobar2000.org/components/view/foout_asio)

これは、foout\_asio.fb2k-component というファイルでインストーラーはついていません。ダウンロードしたファイルをfoobar2000のプログラムディレクトリのComponentsにコピーしてください。ディレクトリ(例) C:\Program Files(x86)\foobar2000\components

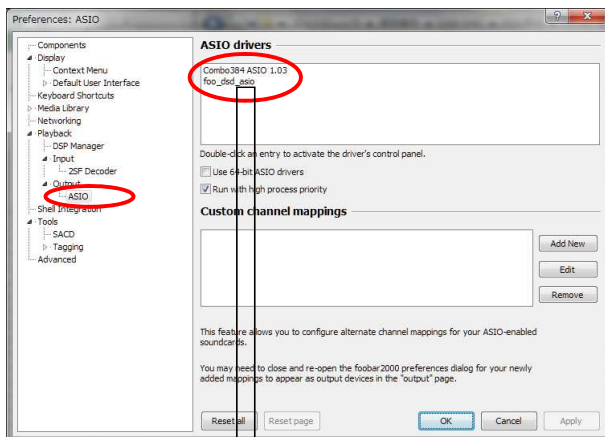
6 これで準備が整いました。Foobar2000を実行してPreferences:Componentsを見ると以下のようになっていると思います。



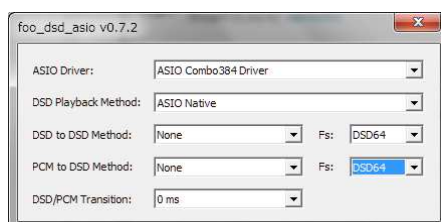
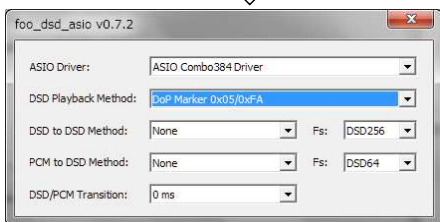
7 PreferencesのOutput設定から ASIO : foout\_asioを選択します。



8 OutputのASIOを選択すると、Combo384 ASIO 1.03 と foo\_dsd\_asio の二つのDriverが入っているはずですが。



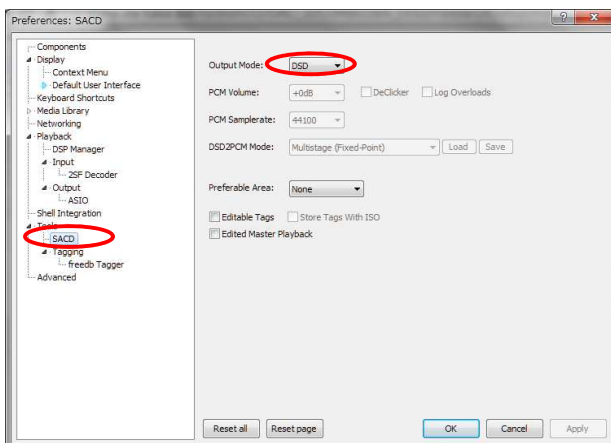
9 foo\_dsd\_asioをクリックすると以下の設定ができます。



※DSD64またはDSD128の再生をする場合は、このDoPモードにしてください。  
切り替えノイズなど無く、安定した動作をします。

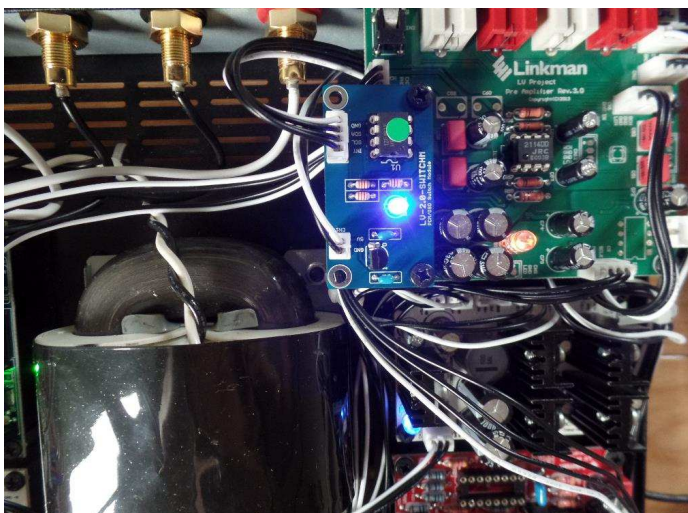
※DSD256を再生する場合は、ASIO Nativeモードにしてください。

10 最後に ToolsのSACDの出力モードをDSDにすればDSD再生ができます。

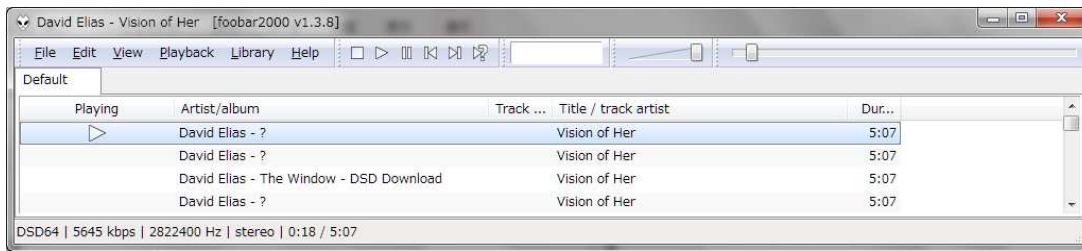


DSD再生例

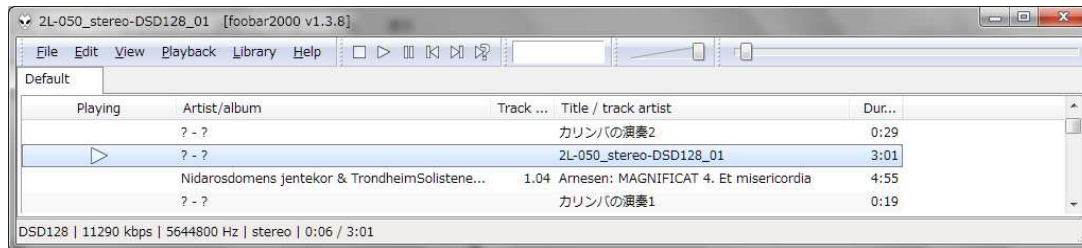
DSDを正常に再生すると、スイッチ基板の青LEDが点灯します。



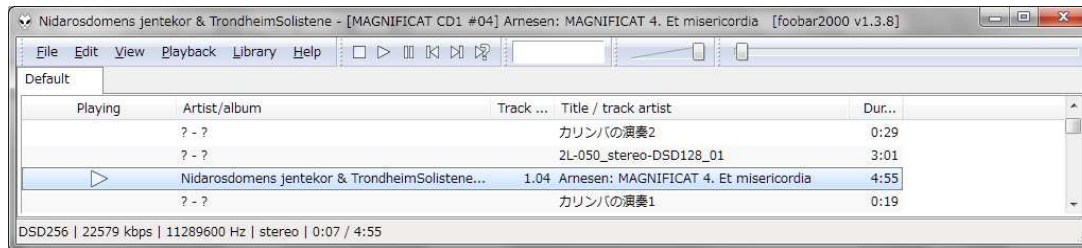
### DSD64を再生



### DSD128を再生



### DSD256を再生



★DSD256を再生した時に再生から数十秒後に右チャンネルからノイズが出たり音が歪んだりする現象が発生する場合は、Combo384のファームウェアアップデートをしてください。